dretec

電子体温計　TO−102

取扱説明書・保証書

やわらかタッチ体温計

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまことにありがとうございます。ご使用の前に、この取扱説明書を最後まで必ずお読みいただき、正しく安全にご使用下さい。お読みになった後は、いつでも見られるように大切に保管してください。

輸入発売元　株式会社ドリテック
〒343-0824 埼玉県越谷市流通団地2-3-9
URL　http://www.dretec.co.jp
お客様相談センター　0120-875-019
（受付時間：月〜金10:00〜12:00,13:00〜16:00,祝祭日および当社指定休日を除く）

保証規定

- ●次のような場合には、保証期間内でも有料修理になります。
  - ※誤ったご使用、不注意、落下、不当な修理、分解、改造、天災、地変等による故障または損傷。
  - ※ご使用上に生じる外観の変化。
  - ※本保証書に販売店、およびお買い上げ年月日の記載がない場合、字句を書き換えられた場合。
  - ※本保証書のご提示がない場合。
  - ※一般家庭以外(例として、業務用としての使用)に使用された場合の故障および損傷。
- ●有料修理の場合、修理品の運賃、修理部品代、技術料はお客様にてご負担願います。
- ●お買い上げ後1年間の保証期間内に、正常なご使用状態で故障した場合には本保証書をご持参ご提示の上、お買い上げ店にご依頼ください。無料で修理、調整いたします。
- ●この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって、保証書を発行している者およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- ●本書は日本国内においてのみ有効です。（This warranty is valid only in Japan.）
- ●保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

お客様の個人情報の利用目的

お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させて頂く場合がございますのでご了承ください。また、法令の定めのある場合を除き、事前の同意をいただくことなく、上記の目的以外には使用いたしません。

保 証 書

本保証書記載内容によりこの製品を保証いたします。
対象部品：本体
保証条件：持込修理
保証期間：お買い上げ日より1年以内
本製品の修理は本保証書をご持参、ご提示の上、お買い上げ店へご相談ください。

保証書	
	お買い上げ年月日
	お買い上げ店
	お名前
	ご住所
	お電話番号

ご使用上の注意

お使いになる前に、よくお読みください。
この取扱説明書は、製品を正しくお使いいただき、使用者への危害や財産への損害を未然に防止するために、様々な絵表示をしておりますので、内容をご確認の上、本文をお読みください。

記号の例

- ❗ この記号は強制(必ず守ること)
- ⃠ この記号は禁止(してはいけないこと)
- ⚠ この記号は注意(警告・危険を含む)

⚠警告　この表示の項目について、誤った取扱いをすると、人が死亡または、重傷を負う可能性があることを示しています。

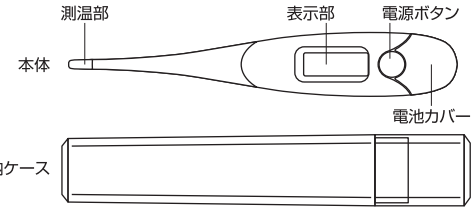
- ❗ 検温結果の自己診断や治療は危険です。
  医師の指導に従ってください。
  自己診断は、病気が悪化するおそれがあります。
- ❗ 乳幼児の手の届かないところに保管してください。
  また、お子様だけでの使用はさけてください。
  お子様だけで無理にはかろうとしてけがをするおそれがあります。
- ⃠ 本製品はわきや口中用の体温計です。
  それ以外(耳など)で検温しないでください。
  また、人以外の検温には使用しないでください。
  正しい検温ができません。耳などを傷つけるおそれがあります。
- ❗ 口腔(舌下)の体温を測定する場合は、ご使用前に消毒用アルコールを染み込ませた布などで測温部を拭き、清潔にご使用ください。
- ⃠ 本体が水などでぬれた状態で測定しないでください。
  正しい検温ができません。

⚠注意　この表示の項目について、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害の発生が想定されることを示しています。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットに関わる拡大損害を示します。

- ❗ 本体を噛んだり、測温部を持って振ったり、無理に曲げたり、落としたり、強い衝撃を与えないでください。
  また、先端で目を突つかないように注意してください。
  事故や故障の原因となります。
- ❗ 複数の人で併用しないでください。
  病原菌に感染する原因になります。
- ❗ 電池は乳幼児の手の届かないところに置いてください。
  乳幼児が飲み込むおそれがあります。万一飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。
- ❗ 万一電池の液が目に入った場合は、すぐに多量のきれいな水で洗い流してください。
  失明など、傷害のおそれがあります。必ず医師の治療を受けてください。
- ❗ 万一電池の液が皮膚や衣服に付着した場合は、すぐに多量のきれいな水で洗い流してください。
  けがなどのおそれがあります。
- ❗ 電池は、+・−を間違えないように交換してください。
  漏液、発熱、破裂などを起こし、本体を破損させるおそれがあります。
- ⃠ 強い静電気や電磁波のある場所で使用しないでください。
  検温値に誤差が生じたり、故障の原因になります。
- ⃠ 電池を火の中に投げ込まないでください。
  電池が破裂するおそれが有ります。
- ⃠ 本体は防水ではありません。
  本体内部に水などが入らないようにしてください。
  検温値に誤差が生じたり、故障の原因になります。
- ⃠ 分解や修理・改造をしないでください。
  検温値に誤差が生じたり、故障の原因になります。

各部の名称



付属品	●電池(アルカリボタン電池LR41 動作確認用：本体内蔵) ●収納ケース ●保証書付取扱説明書(本紙) ●添付文書(本紙裏面右側)

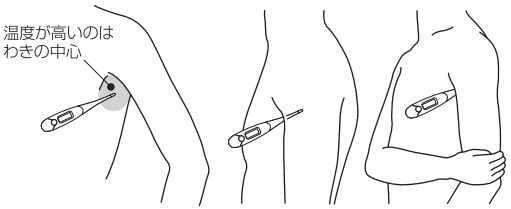
体温計の正しいあて方

体温計を測定部分に正しくあててはからないと、精度の高い検温値が得られない場合があります。

わきではかる場合

●わきの中心ではかる
わきから汗をきれいにふきとってから測定してください。

●斜め下から差し入れるようにしてしっかり挟む
わきと体温計が密着するように腕を軽く抑えてください。



口の中ではかる場合

●舌下のつけ根の左右どちらかにあてる

●舌で体温計を密着させて口を閉じる

●体温計がはずれないように手で支え、検温中は口を開かない
口で呼吸をしない

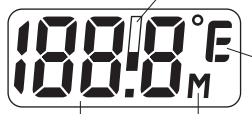
⃠ 乳幼児には危険ですのでこの方法は絶対にお止めください。

正確な測定のために

- ⃠ 飲食、運動、入浴後の30分間は測定をお控えください。
  ※正確な測定ができません。
- ⃠ 周囲の温度が10℃を下回るか、40℃を超える場所では使用しないでください。
  ※正確な測定ができません。
- ⃠ 起床後は動く前にはかるか、動き出してから30分間は測定をお控えください。
  ※起床直後に動き出したときは体温が高くなり、変動が大きくなっています。

体温計のはかり方（検温）

本体表示部説明



電池消耗時に表示
（裏面の「電池交換」参照）

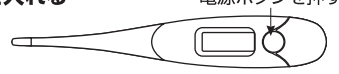
測定中に数字とともに「℃」表示

測定値表示部
（「Lo」は31.9℃以下、「Hi」は43.0℃以上）

前回測定値表示中に表示

①電源を入れる

電源ボタンを押す



「ピッ」という音とともに表示部が全点灯。（約2秒間）

次に前回の測定値が表示されます。右下に「M」が表示され、前回測定値メモリーであることを表示します。（約2秒間）

②「℃」が点滅したら、体温計をわきにはさむ

表示部に現在の周囲温度が表示され、℃が点滅します。（「Lo」は31.9℃以下、「Hi」は43.0℃以上を表します。）

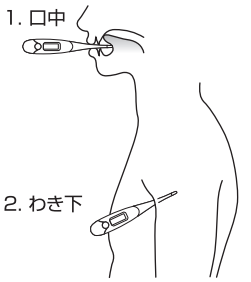
検温スタート。32秒以内に測定部位に測温部をあててください。（測定中は℃が点滅します。）

1. 口中

※口中で検温するときは、舌下のつけ根にあてる。

⃠ 乳幼児には危険ですのでこの方法は絶対にお止めください。

2. わき下



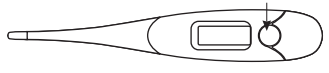
③測定が終了に近づくと終了予告ブザーが鳴るので、検温結果を確認する

「ピー、ピー、ピー、…」と1秒間に1回のペースで10秒間鳴り、℃表示が点滅から点灯に変わります（※1）。ただし、その後も測定状態は続いています。より正確な測定のためには、更に約2〜3分程度測定を継続されることをお勧めいたします。

※終了予告ブザーが「ピピピッ、ピピピッ、ピピピッ、…」と1秒間に3回のペースで10秒間鳴った場合は、測定結果が約37.8℃以上だったことをお知らせします。
※測定値は次回起動時までメモリーとして残ります。
※より正確にはかるための時間の目安
　わき：約10分　口中：約5分

④電源を切って、ケースに入れる

電源ボタンを押す



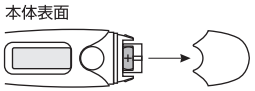
※当体温計は電源を入れた状態で放置した場合でも、約9分後に自動的に電源が切れるよう設計されていますが、電池の消耗を防ぐため電源は切ってください。

電池交換

●本体にはあらかじめ動作確認用電池が内蔵されています。
●テスト用電池は動作確認用のため、電池寿命が短い場合がございます。
●新品の電池の寿命は、一日10分使用した場合、約2年です。
●電池の寿命が近づき電圧が低下すると、測定開始時に表示部中央に「!」マークが点滅表示され、測定ができなくなります。
●寿命と判断された電池はすみやかに新しい電池と交換してください。そのまま放置する事はおさけください。液漏れにより故障の原因になります。
●使用電池はアルカリボタン電池のLR41タイプを1個です。
●使用済みの電池や本体の廃棄方法は、お住まいの市区町村の指導に従って廃棄処分してください。

交換のしかた

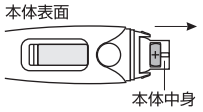
①電池カバーをはずします。



②本体中身を5mm程度引き出します。

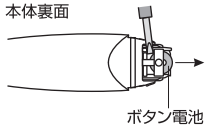
⚠この時強く引っ張らないでください。破損する事があります。

⚠基盤には絶対に触れないでください。



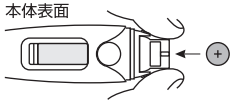
③本体裏面側から精密マイナスドライバー等、先の細いもので電池を押し出すように取り出します。

⚠電池はきつめにセットされていますので、取り出す際はつまようじ等で指を刺さないよう注意してください。

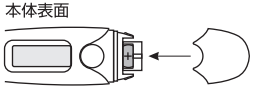


④本体中身を指で押さえ、電池のプラス面が表になるよう押し込みます。

※古い電池は販売店に引き取ってもらうか、自治体のルールに従って廃棄処分してください。



⑤本体中身を元にもどし、電池カバーをしてください。



仕様

販売名	電子体温計　T0−102
認証番号	第 226AKBZX00012000 号
温度測定範囲	32.0℃〜42.9℃ 31.9℃以下で「Lo」マーク表示 43.0℃以上で「Hi」マーク表示
測定精度	±0.1℃(32.0℃〜42.9℃の間) 周囲温度10℃〜40℃の時
温度表示	3桁デジタル+℃表示、0.1℃毎
終了予告ブザー	温度上昇が0.1℃/32秒以下のとき鳴ります
測定値メモリー	最後の測定値を記憶保存します
電撃保護	内部電源機器BF形
測温部	サーミスタ
使用電池	アルカリボタン電池　LR41×1個(DC1.5V)
使用温度条件	10℃〜40℃
保管温度と湿度	−10℃〜60℃　30%〜90%RH
外形寸法と重量	140(H)×22(W)×12(D)mm 約13g(電池を含む)
電池寿命	約2年(新品電池を一日10分使用の場合)

故障かなと思ったら

●電源が入らない/表示部に「!」が表示される

原因	対処方法
電池が消耗していませんか	新しい電池に交換してください 「電池交換」をご参照ください
電池の向きをまちがえていませんか	電池を正しくセットし直してください 「電池交換」をご参照ください

●思ったより測定値が低い

原因	対処方法
汗をかいていませんか	汗をきれいにふき取って測定しなおしてください
測温部を正しくあてていますか	「体温計の正しいあて方」をご参照ください
測定時間が短かった可能性があります	終了予告ブザーが鳴るまではずさないでください

●思ったより測定値が高い

原因	対処方法
測温部が何らかの理由で熱くなっていた可能性があります	測温部を冷やし、電源を入れた時に「Lo」が表示されることを確認してから、再度測定してください

●測定値が一定していない、ばらつく

原因	対処方法
測定するたびに、検温部があたる場所が変わっていませんか	「体温計の正しいあて方」をご参照ください
飲食・運動・入浴直後などに測定していませんか	「正確な測定のために」をご参照ください

●終了予告ブザーが測定開始後すぐに鳴る

原因	対処方法
測温部がずれた可能性があります	「体温計の正しいあて方」をご参照ください

お手入れと保管

体温計はいつも清潔にお手入れしてください。

●ご使用後は、柔らかい布や脱脂綿等に消毒用アルコールまたはぬるま湯をしみ込ませてかたく絞ったもので、測温部を軽く拭いてください。(電池カバー部と本体の間にしみ込ませないないようご注意ください。)
●下記の事を守ってください。故障の原因になります。
・電池カバー部分は防水性がありません。丸洗いはしないでください。
・汚れを落とす際はシンナーやベンジンは使用しないでください。
・体温計の測温部を長時間アルコールに浸したり、熱湯(50℃を超える湯)で消毒しないでください。
・丸洗いや超音波洗浄をしないでください。

体温計は、ケースに入れて保管してください。

●保管する際は、本体を乾燥させた状態にして、下記のような場所には保管しないでください。
・水のかかる場所
・高温多湿の場所や直射日光の当たる場所、ホコリの多い場所や、暖房器具のそば、塩分などを含んだ空気の影響を受ける場所
・傾斜、振動、衝撃のある場所
・化学薬品の保管場所や腐食性ガスの発生する場所
●長期間保管する場合は、電池を本体からはずしてください。

2014年2月24日　　医療機器認証番号：第 226AKBZX00012000 号

機械器具(16)　体温計
管理医療機器　一般的名称：電子体温計(JMDN14032010)
販売名：電子体温計　T0-102

【警告】
・お子様だけでご使用にならないでください。

【禁忌・禁止】
・測温部を噛まないでください。
・人以外の検温にはご使用にならないでください。
・測定結果の自己判断や治療は危険ですので、医師の診断に従ってください。

【形状・構造及び原理等】

測温部にあるサーミスタが温度により、電気的抵抗値が変化する特性を応用して、抵抗値の変化を集積回路で演算処理し、体温として表示部に表示します。
<付帯機能>
初期動作確認告知、実測検温終了告知、測定温度範囲外告知、自動電源遮断機能

【使用目的、効能又は効果】
測温部を部位に接触させて、脇下又は口腔(舌下)の体温を測定し、最高温度を保持しデジタル表示する。

【品目仕様】
・種類　：一般用
・方式　：実測式
・温度測定範囲　：32.0℃〜42.9℃
　31.9℃以下になると「Lo」表示
　43.0℃以上になると「Hi」表示
・測定精度　：±0.1℃
・温度表示　：3桁デジタル
・最小表示単位　：0.1℃
・応答特性　：30秒以内
・定格電圧　：DC1.5V
・電源　：アルカリボタン電池(LR41)
・最高温度保持機能　：実測した最高温度の測定値を保持する。
・測定値メモリー　：前回測定した測定値を記憶保存する。
本品は、EMC規格 :JIST0601-1-2: 2012に適合している。

【操作方法又は使用方法等】
1)電源ボタンを押す。
2)"ピッ"音の後に表示部の全セグメントが表示される。
その後、表示部右下に"M"が表示され、前回測定値が2秒間表示される。
3)その後、"℃"の点滅が開始し、測定可能となる。
4)測温部を脇下又は口腔(舌下)に密着させ安静にする。
5)"ピー・ピー"音が連続10秒間鳴ったら、測定が終了に近づいた合図である。体温を正確に測定するためにはさらに脇下で約3分、口腔(舌下)で約2分以上続けて測定する。
6)表示部に測定された体温が表示される。
7)測定が終わったら、電源ボタンを押せば、表示が消え電源OFFになる。
8)電源ボタンを押さなかった場合、約9分後に自動的に電源OFFになる。

【使用上の注意】
(1)小さなお子様の手の届かないところで保管してください。また、お子様にご使用の際は、先端の測温部で目を突いたり、電池を誤飲しないよう保護者の監視下でご使用ください。
(2)運動・食事・入浴の後は十分な時間をおいてから体温を測定してください。
(3)本体を強く噛まないでください。
(4)体温以外の測定及び、人以外の検温に使用しないでください。
(5)口腔(舌下)の体温を測定する場合は、ご使用前に消毒用アルコールを染み込ませた布などで測温部を拭き、清潔にご使用ください。

【貯蔵・保管方法及び使用期間等】
(1)高温や直射日光のあたる場所、湿気の多い場所や水のかかる場所、ほこりの多い場所、腐食性ガスの発生する場所で保管しないでください。
(2)収納ケースへ収納し、保管してください。

【取り扱い上の注意】
(1)分解・改造・修理は絶対行わないでください。
(2)電池カバー部分は防水性がありません。電池カバー部分に水等をかけたり、本体に水等をつけたりしないでください。
(3)熱湯消毒はしないでください。
(4)丸洗いや超音波洗浄はしないでください。
(5)極端に曲げたり落としたり強い衝撃を与えないでください
(6)体温を測定する時、周囲温度が体温より高いような場合は測温部に水をかけ、測温部を冷やしてから測定し、終了のお知らせ音が鳴ったらすぐ表示値を読み取ってください。
(7)電池が消耗した場合、表示部の中央に電池低圧マークが表示されます。このような場合、電池を交換してください。
(8)電池交換の方法は、取扱説明書をご参照ください。

【保守・点検に関わる事項】
(1)使用前に清潔な状態にし、作動するか(電源が入るか)を確認してからご使用ください。
(2)汚れは、中性洗剤又はアルコールを染み込ませた布でよく拭いてください。

【包装】
本体・収納ケース1台／個

【製造販売業者及び製造者の氏名又は名称及び住所等】
製造販売元　：株式会社ドリテック
　埼玉県越谷市流通団地2-3-9
製造元　：VEGA TECHNOLOGIES INC.(中国)
　東莞東冠電子製品有限公司
連絡先
　株式会社ドリテック　お客様相談センター
　フリーコール　0120-875-019
　受付時間:月〜金　10:00〜12:00, 13:00〜16:00
　(祝祭日および当社指定休日を除く)

取扱説明書を必ずご参照ください。